

第4回 Support Our Kids海外ホームステイプログラム In ニュージーランド 実施レポート



2014年 8月

Support Our Kids

1. 概要

■プログラム概要

日時：2014年 8月6日 ～ 8月21日

※6日：東京にて事前研修

※21日：成田空港にて解散式

場所：ニュージーランド オークランド

参加：10名（被災地の中学2年生～高校3年生）

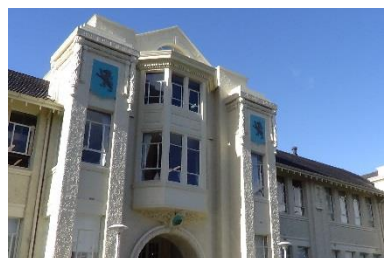
プログラム内容

- ・ホームステイ
- ・語学研修
- ・クライストチャーチ市長訪問
- ・Sightseeing（南極センター/水族館）
- ・牧場ツアー
- ・ワンデイトリップ（ランギト島見学）
- ・送別会

お世話になった方々、一緒に過ごしたバディ、クラスメイトが参加
震災に関するスピーチ



（リンカーン高等学校）



（Mount Albert Grammar School）

■Cooperation

外務省、ニュージーランド大使館、クライストチャーチ市長公邸、ANZCCJ、
公益財団法人ラボ国際交流センター、NZEDU、三菱食品株式会社、
株式会社マルトグループホールディングス、ウジエスーパー、マイヤ、ニュージーランド航空、マ
ウントアルバートグラマー学校、リンカーン高等学校

※ 以上に加え、私たちは多くのサポートをして頂いております。
皆様のご協力に感謝致します。

2. 事前研修

日時：2014年8月6日 13:40～18:00

場所：カナダ大使館(東京都港区赤坂7-3-38)

オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

8月6日(木曜日)

13:00	～	13:10	事務局挨拶
13:10	～	13:15	カナダ大使館挨拶
13:15	～	13:40	自己紹介(日本語 & 英語) *NZ グループ & Canada グループ
13:40	～	14:00	ホームステイプログラムの内容
14:00	～	14:10	(休憩)
14:10	～	15:00	ホームステイの心得/ ケーススタディ 保険について
15:00	～	15:10	(休憩)
15:10	～	16:00	ホスト国について(生徒プレゼンテーション) (休憩)
16:15	～	16:30	カナダについて(カナダ大使館)
16:30	～	17:30	東日本大震災について (オリンピックセンターへ移動 & 夜ご飯)
19:30	～	20:00	ニュージーランド大使館挨拶
20:00	～	20:40	東日本大震災の状況共有
20:40	～	21:00	グループ目標設定
21:00	～	21:10	連絡事項
自由時間・就寝			



8月7日(金)

8:00	～	9:30	起床, 朝食, チェックアウト
10:00	～	11:30	プレゼンテーション練習
12:00	～	13:00	ランチタイム
電車で成田空港へ出発			
※NZ90 18:00成田発			



3. スケジュール

日付	内容	宿泊
8/6(水)	オリエンテーション（事前研修）	東京 オリンピックセンター
8/7(木)	オリエンテーション / 日本発（18:00）	
8/8(金)	オークランド着(8:45) / 出発(10:10) クライストチャーチ着(11:30) / ホストファミリーと対面	クライストチャーチの ホームステイ先 ホストファミリー
8/9(土)	ホストファミリーと過ごす	
8/10(日)	ホストファミリーと過ごす	
8/11(月)	AM：歓迎式 PM：就学（バディと対面）	
8/12(火)	終日：就学	
8/13(水)	牧場ツアー 南極センター見学 クライストチャーチ市長公邸訪問	
8/14(木)	終日：就学	
8/15(金)	出発(8:45) オークランド着(10:05) オークランド観光 / ホストファミリーと対面	オークランドの ホームステイ先 ホストファミリー
8/16(土)	ホストファミリーと過ごす	
8/17(日)	ホストファミリーと過ごす	
8/18(月)	終日：就学	
8/19(火)	ランギトト島、水族館見学	
8/20(水)	AM：就学/PM：送別会、震災についてプレゼン発表	
8/21(木)	オークランド発(8:30) / 日本着(16:50) 解散式	

4. 現地の様子

■ クライストチャーチ



■ オークランド



5. 解散式

日時：2014 年8月21日 17:40~18:40

場所：成田空港内会議室

内容：ホームステイプログラムの振り返り



積極性もなく、海外に行くのも初めてな僕が二週間でここまで成長できたのは、引率のトシさん含めた10人の力があったからです。僕はこのホームステイプログラムを通じて積極的に行うことの大切さを学びました。これからも先にいろいろな人と話を共有して学校生活に生かしたいです。

宮城 中2男子

今回のプログラムで、私はクライストチャーチの復興の現状を知ることができました。そして帰国後、学校の英語の授業の時間にニュージーランドで撮ってきた写真を使いながら2週間どんな生活をしてきたか、震災の復興状況、ニュージーランドの現地の学校のことを伝えました。私はこのホームステイプログラムを通してたくさんの事を学べたのも、夢の第一歩を踏み出せたのも、ニュージーランド組のみんなに出会えたのも支援者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

宮城 高1女子

今回一緒に行ったメンバーやホストファミリー、バディなどたくさんの人との出会いは本当に貴重なものだと感じました。ニュージーランドの学校で体験した積極性や自主性をこれからの生活に生かしていきたいです。今回、私がニュージーランドに行けたのは、多くの方々のサポートがあったからです。たくさん成長できた2週間でした。本当にありがとうございました。

福島 高3女子

6. メディア

「復興世代」海外へ派遣

地元から担い手育成 本県企業初、今夏3人

本県企業初の海外派遣事業として、今年夏に3人の高校生をニュージーランドに派遣する。地元企業から人材を育成し、復興支援に貢献する。派遣先は、ニュージーランドのクライストチャーチ市。同市は、2011年の大震災で壊滅的な被害を受けた。現在は復興が進んでいるが、依然として多くの課題が残っている。派遣された高校生は、現地の学校で生活し、現地の文化や生活習慣を学ぶ。また、現地の復興支援活動に参加し、復興支援に貢献する。派遣事業は、地元企業と連携して実施される。派遣先企業は、地元企業初の海外派遣事業となる。派遣された高校生は、地元企業で働く機会を得る。派遣事業は、地元企業と連携して実施される。派遣先企業は、地元企業初の海外派遣事業となる。派遣された高校生は、地元企業で働く機会を得る。

5月17日
岩手日報新聞



6月22日
NHKニュース



6月23日
河北新報新聞

7. 参加者の感想

皆さん色々なことを実際に体験
する中で、将来につなげる大切な学びに出会えると思うので、目標を
色々と挑戦すること、積極的にコミュニケーションをとるという目標を
設定し、ニュージーランドへ行ってみたい。日本には食べ物の食べ方、
バディやホストファミリーに多くかかわりたい。この目標が達成できたら
いいと思います。

岩手 高2女子

日本より復興が進んでいるだろうと思っていた私は、取り壊
されている建物や、壊れたままになっている建物を見て衝撃
を受けました。
また、建物を取り壊すにも多額のお金がかかったり、有害な
物質が出てきてしまうため簡単には取り壊すことが出来ない
ことを聞きました。大聖堂を訪れ今でも残っている震災の爪
痕を目の当たりにし、被害にあわれた方185名分の白い椅
子を見ました。紙でできた大聖堂では、'節子さんからここ
で働いている人はみんなボランティアだ'ということを知り、
復興への想いを感じさせられました。

岩手 中2女子

ニュージーランドに行き、仲間と楽しく過ごし、文化に触れ、生活に触れ、
すごく自分の将来のためになりました。これが終わりではなく始まりと
思い学んだ事を活かし、周りや、次に参加する人たちへ少しでも繋げられれば
いいと思っています。最高の2週間でした。

岩手 高1女子

宮城 高2男子